

平成30年度新規研究課題

課題番号（3）

課題名：「茶葉」の保存、周年供給技術の確立

研究期間：平成30～32年度

研究担当：経営高度化研究室

1 研究の背景

宇部市小野地区は県内の9割以上を占める茶の生産地であるが、茶生産者の減少・高齢化、生産者の世代交代が喫緊の課題となっている。

茶振興会議は、「葉っぱ」の形のまま利用できる「茶葉」の周年供給で、新たな需要の創出とイメージアップを図り、次世代生産者確保に活路を見いだそうとしている。

2 目的

周年供給に向けた「茶葉」の保存方法の検討及び保存時の品質変化を明らかにする。

3 研究内容

「茶葉」の最適な保存方法と保存時の品質変化

4 研究のポイント

「茶葉」として新たな需要が開拓可能となり生産振興を図ることができる。
また、「茶葉」の認知度向上による需要拡大が期待できる。

「茶葉」の保存、周年供給技術の確立(H30~32)

経営高度化研究室

【現状と問題点】



- ・生産者減少
- ・高齢化
- ・後継者不足



山口県のお茶産地はどうか？

【解決方法】

お茶産地ならではのイメージアップを図ろう

葉っぱの形のまま利用してみたい！

新茶の葉っぱが1年中入手できれば、新しいメニューが開発できるのに…

- ・「茶葉」の葉っぱの形と品質を維持する技術の開発
- ・周年供給可能な保存方法の確立



【成果の活用】

実需者による
周年での「茶葉」の利用

新たな需要の創出
認知度向上・イメージアップ